

もやせるごみの収集方法の検討について（報告）

佐倉市の家庭から出される一般ごみの収集について

現在佐倉市では、集積所で収集するごみについて以下のとおりとしています。

| 収集品目 | 収集曜日 |
|-------------|---------------|
| もやせるごみ | 月、水、金曜日 |
| うめたてごみ | 毎月1・3回目の木曜日 |
| 金属類・小型家電 | 毎月2・4回目の木曜日 |
| カン | 毎月1・3・5回目の火曜日 |
| ビン | 毎月2・4回目の火曜日 |
| その他紙製容器包装 | 毎週火曜日 |
| プラスチック製容器包装 | 毎週木曜日 |

これらの品目は、市内約3,700箇所の集積所で収集を行っております。集積所の新規の設置数は、核家族や単身世帯の増加に伴い世帯数が増加していることや、アパート、マンション等の集合住宅の新築が増加していることで、年々微増しております。

また収集作業は直営で行うのではなく、民間の事業者へ委託しております。収集区域として佐倉市を5つのエリアに分け、それぞれ異なる事業者へ委託しております。

今後の収集事業のあり方を検討している中で、集積所で収集している品目のうち「もやせるごみ」について、現状の収集回数から変更することを一つの案として検討しています。

今回検討する目的は次のとおりです。

検討目的

- 紙製容器包装の収集量の減少傾向にあることや、プラスチック製容器包装の収集量が想定を下回っていることから、可燃ごみにそれらが混入していることが想定されます。
- 資源ごみのリサイクル促進のために、市民がリサイクルに参加する環境づくりが必要とされています。

- 現在、全国的に業種を問わず、労働現場の人手不足が深刻化しており、収集事業においても同様です。今後の収集を継続していくためには、効率化に向けた取組みを検討する必要があります。
- 物価や人件費が上昇していることで家庭ごみの収集運搬委託費用が近年高騰しており、費用の削減の検討が必要とされております。

近隣他市町村の状況

近隣他市の状況については以下のとおりです。

| 可燃ごみの収集回数 (週) | 市町 |
|------------------|---------------------------------|
| 2回 | 印西市、栄町、山武市、酒々井町、白井市、千葉市、成田市、船橋市 |
| 3回 | 富里市、習志野市、八千代市、八街市、四街道市 |

近隣では一定数の市町で可燃ごみを週2回の収集としていますが、週3回の収集を行っている市もあります。

印旛地区内では9市町のうち、5市町が週2回の収集となっており、15年以上前からこのような体制となっております。

上記に挙げた近隣他市の中では、船橋市が平成30年10月から週2回の収集となっていることから、今後も週2回の収集に移行する市町村が出るのが想定されます。

もやせるごみの収集日を1日減らした場合について

令和7年度の委託日数を参考に、水曜日の「もやせるごみ」を削減した場合の試算を行いました。試算結果は以下のとおりです。

【試算結果】

| | 日数削減前 | 日数削減後 | 削減日数・金額 |
|-----|-----------|-----------|-----------|
| 平日 | 240日 | 190日 | 50日 |
| 祝祭日 | 15日 | 14日 | 1日 |
| 合計 | 255日 | 204日 | 51日 |
| 試算額 | 約7億6千9百万円 | 約6億1千6百万円 | 約1億5千3百万円 |

「もやせるごみ」を週 2 日に削減することで、以下のようなメリットやデメリットが想定されます。

| メリット | デメリット |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・「もやせるごみ」に出されていた資源ごみが、それぞれ適切に分別され、資源ごみとしてリサイクルされる量が増加する可能性がある。・収集費用の削減に伴い、収集作業の効率化に向けた取り組みに投資できる可能性がある。 | <ul style="list-style-type: none">・長年もやせるごみの週 3 回の回収を実施していたことが佐倉市民として享受されるメリットの一つとなっており、市民がその変更について理解を示していただけるかが不透明である。 |

今後

収集日数の削減について、市民意識調査を実施しました。
設問は以下のとおりでした。

質問内容

燃やせるごみの収集日は、佐倉市においては毎週月・水・金の 3 日間です。これを事業費削減のためもし毎週月・金の 2 日間に削減したら、どう思われますか。【1 つ選択】

回答選択肢

1. 全く問題ない
2. やむを得ず、了承する。
3. 出来れば、毎週 3 回を継続して欲しい
4. 絶対に反対である。毎週 3 回を継続すべき
5. その他

市民意識調査の結果については現在集計中であり、令和 8 年 3 月頃に確定する予定です。

調査の結果やごみの量の推移、佐倉市の財政状況などを踏まえ、今後の収集事業のあり方について検討を行います。